



SanKen

*Power Electronics for  
Next “**E**” Stage*

サンケン電気  
サンケングループ

---

2013 CSR報告書

# Power Electronics for Next "E" Stage

## 編集方針

本報告書は、2012年度の当社グループのCSR (Corporate Social Responsibility : 企業の社会的責任) 活動をステークホルダー (利害関係者) の皆様にお伝えすることで、コミュニケーションの向上と活動内容の充実を目指す目的で作成しています。

## 報告対象期間

2012年度 (2012年4月1日～2013年3月31日)

\* 一部の報告には、2013年度の活動計画を含みます。

## 報告対象組織

本報告書の対象組織は、サンケン電気株式会社およびグループ会社として  
います。

## ホームページでの開示

本報告書は、下記アドレスからもご覧いただけます。

<http://www.sanken-ele.co.jp/corp/csr.htm>

## 発行について

発行 2013年6月

次回発行 2014年6月 < 予定 >

## 参考にしたガイドライン

「環境報告ガイドライン」(2007年版) 環境省

「サステナビリティ レポーティング ガイドライン」(2006年版) GRI

お問い合わせ先

サンケン電気株式会社 管理本部 CSR室  
〒352-8666 埼玉県新座市北野三丁目6番3号  
TEL 048-472-1116 FAX 048-472-1158

# サンケン電気 2013 CSR 報告書

## CONTENTS

---

編集方針 .....	1
トップメッセージ .....	3
わたしたちの製品が使われているところ .....	5
半導体デバイス事業 / PM 事業 / PS 事業	
特集 1 環境対応製品 .....	6
特集 2 CSR 浸透、CSR 意識醸成活動 .....	10
特集 3 本業を活かした地域振興貢献 .....	11
特集 4 埼玉県視察団が米国ミネソタのグループ会社訪問 .....	13
■ コーポレート ガバナンス .....	14
CSR の取り組み	
CSR 体制	
CSR 委員会、内部統制推進委員会、内部監査	
情報セキュリティ、危機管理、輸出入管理、知的財産	
■ 社会 (ステークホルダー) .....	18
お客様との関わり	
株主・投資家との関わり	
お取引先との関わり	
従業員との関わり	
社会・地域の皆さまとの関わり	
■ 環境 .....	25
環境活動の考え方、環境活動体制	
環境パフォーマンスと具体的な活動	
GRI ガイドライン対照表 .....	29
会社概要 .....	30

---

# 時代の変化を見据え、社会との持続的な共生を

## はじめに

当社は創業から 67 年間に亘り、最先端の半導体開発を通じ、その製品化を推し進めることで、国内はもとよりグローバルな市場を創造してきました。

私たちの身の回りには、生活に欠かせない自動車、家電製品、OA 機器、産業用機器から照明器具にいたるまで様々な製品があります。エレクトロニクス化されたこれらの製品の根底を支えているのが、半導体製品です。

近年のエレクトロニクス分野は、製品ライフサイクルの短命化、エコ・省エネニーズからの技術変化、グローバル化が進展する事業環境の中にあります。

当社は、ステークホルダーであるお客様、お取引先様や地域社会、株主の皆様、従業員に支えられ、様々なニーズに対して、これまで培ってきた技術力を基盤に、より創造性と先進性あふれる製品をタイムリーに供給することで、社会に貢献できるメーカーとしての存在感を更に認めていただけるよう、挑戦し続ける企業でありたいと考えております。



## サンケンの CSR 経営

当社は「創立宣言」において、「産業・経済・文化の発展への寄与」を掲げており、その精神は「経営理念」において「半導体をコアビジネスに、パワーエレクトロニクスとその周辺領域を含めた最適なソリューションを提供することを使命とし、世界各地の産業・経済・文化の発展に寄与する」と明記され現在へ引き継がれています。

当社グループはこの「経営理念」の実践を通じ、社会貢献することを CSR 活動の軸として、「社会との関わり」、「厳正な企業経営」そして「地球環境の保全」といった観点から CSR の取り組みを行っています。

当社は 2012 年に 3 ヶ年の中期経営計画をスタートさせ、「Power Electronics for Next “E” Stage」をスローガンに掲げて取り組んでいます。

これは、当社のコア事業である Power Electronics の分野において、エコ・省エネ技術 (Eco-Solutions) を活かしたグローバルな市場展開 (Expansion) を図り、また、開発・生産・販売・人材といった要素をそれぞれ進化 (Evolution) させることで、更に一段上の企業 (Next Stage) を目指すという意志を込めています。

特にエコ・省エネ技術 (Eco-Solutions) においては、今後益々拡大が期待される自動車、白物家

# 目指して

電、LED 照明、産業機器市場への積極展開を図り、本業である「パワーの変換、制御に関連する製品開発」を促進することで「地球環境の保全」に寄与していきたいと考えております。

このエコ・省エネ技術で求められている高効率で待機電力を抑えた AV・OA 機器、インバータ化された白物家電・産業機器での消費電力削減、パワーコンディショナーによる自然エネルギーの創出、電子化の進む自動車での燃費向上は、CO<sub>2</sub>削減の促進につながるようになります。

当社は、コアコンピタンスとして、パワー半導体を生み出すプロセス技術、IC、LED やモジュール製品に仕上げるアッセンブリ技術、電源ユニットへ組み上げる回路技術、そして大型電源を構成する装置化技術のすべてを有しており、これら「トータルソリューション」を活かすことで、エコ・省エネを実現した多様な製品の提供に努めてまいります。

## 今後の取り組み

国際的な省エネ規制であるエナジースター、欧州省エネ規制の ErP 指令、米国エネルギー省の DoE 規制などが製品電源部分の効率に厳しくかかわってきます。自動車に関しては世界各地でより厳格な燃費基準が適用されつつあります。

今後は、これらの様々な課題を先取りし、社会が求めている高品質な「エコ・省エネ製品」を提供していくことで、ステークホルダーの皆様の期待に沿えるよう努めてまいります。

一方、厳正な企業経営のためにコンプライアンスおよびリスク管理の徹底により、これまで以上にガバナンス強化を図ってまいります。

変化の著しい 21 世紀に勝ち残り、そして企業に対する社会のニーズに対応するために、事業活動と CSR 活動を一体化させた CSR 経営を着実に成果に結びつけ、全てのステークホルダーの皆様からこれまで以上のご信頼をいただき、また世界の産業・経済・文化の発展に貢献する価値ある企業と認めていただけるよう、邁進してまいります。

本 CSR 報告書をご一読いただき、当社の CSR に対するご理解を深めて頂ければ幸甚です。



2013 年 6 月

サンケン電気株式会社  
代表取締役社長

飯島貞利

# 「わたしたちの製品が使われているところ」

当社製品は、成長著しいエコ・省エネ関連分野において、自動車、白物家電、LED照明、産業機器などのさまざまな製品に使われています。更に、新エネルギー、グリーン・インフラ市場へ商品展開していくことで省エネに貢献しています。

法律に義務づけられた高層建造物に設置され、航空機の安全航行を確保

「高光度航空障害灯」



落雷や停電、予期せぬ電源トラブルから、ハードウェアやデータを守る

「無停電電源装置」



高度な情報・通信化社会を支える通信基地局用

「直流電源装置」



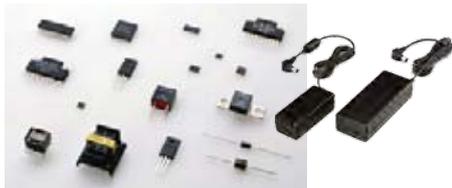
産業機械の自動化、省力化、省エネ化

「モータ制御用インバータ」



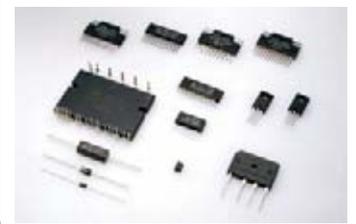
オフィス、FA、通信機器向け

「半導体デバイスやユニット電源」



エアコン、洗濯機、冷蔵庫などの家電製品や太陽光発電向け

「半導体デバイス」



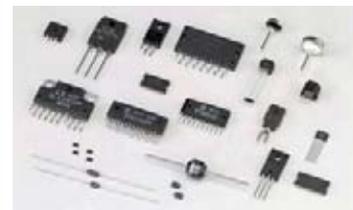
「LED照明灯具」

省エネ、省資源、長寿命で次世代の照明として注目



自動車向けの様々な制御部分に搭載

「半導体デバイス」



## 災害用蓄電システム（ソーラー蓄電システム）

いつ起こるとも限らない災害や、電力不足による長期停電に備え、電力を蓄えておく要求が高まっています。この要求に応えるため、太陽光発電システムを有効に活用し、停電時にもソーラーパネルから充電できる蓄電システムを製品化しました。

この製品は一般家庭で使用可能で、ほとんどの家電製品に、電力を供給することができます。

### < 特長 >

#### 1. 停電状態でも電力の供給が可能

災害時や長期停電のような、入力電源がない状態でも運転ボタンを押すだけの簡単操作で蓄電した電力を AC100V として使えます。

#### 2. 災害時の長時間停電に対応

昼間にソーラーパネルから充電し、夜間には蓄電池に蓄えた電力を使用できます。

#### 3. 蓄電池の増設が可能

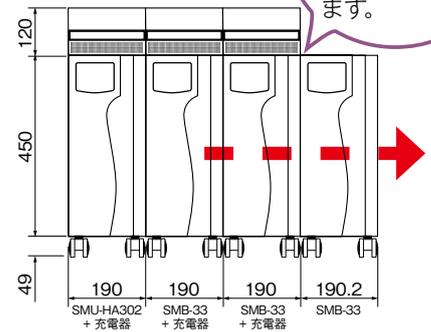
使用機器に応じて蓄電池や充電器 (DC/DC コンバータ部) の容量を自由に選択して増設することが可能です。

#### 4. 事故・災害があっても安心

無瞬断で蓄電池運転に切り替わる無停電電源装置としても使用可能です。自動モードで常時運転しておくことで、瞬停や電圧変動を補償する無停電電源装置としても使用できます。



蓄電池や充電器の容量増設が簡単にできます。



本製品シリーズについては、今後、ガソリンスタンドやコンビニエンスストア、また、マンションの給水塔などに対応できるよう用途拡大を目指します。

### ■本システムの標準構成の場合の使用機器と使用可能時間例

使用機器と電力供給時間（標準構成の場合）



固定電話  
約 5 時間  
(5W 時)



ラジオ  
約 4.5 時間  
(10W 時)



照明  
約 4 時間  
(25W 時)



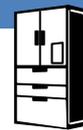
テレビ  
約 3 時間  
(50W 時)



扇風機  
約 3 時間  
(50W 時)



ノート PC  
約 3 時間  
(50W 時)



冷蔵庫  
約 1.5 時間  
(200W 時)



電気ポット  
約 20 分間  
(800W 時)



電子レンジ  
約 10 分間  
(1500W 時)

【ご使用になれない機器】消費電力が 3000VA/2100W を超える機器。モーターを使用する機器やコンデンサを内蔵している機器は、運転時に大きな電流が流れ、ご使用できない場合があります。設置時に接続する機器の動作テストを推奨します。

## 新製品速報！ ハイブリッド発電システムによる LED 街路灯

サンケン電気とニッコー（株）（石川県白山市）は、風力と太陽光によって発電し点灯させる新たな LED 街路灯を共同開発、完成させた。

災害で電力供給が途絶えた場合でも避難誘導灯として活用できる上、バッテリーに蓄電して電源としても利用でき、気象状況により風力 / 太陽光発電が稼働しない場合でも 5 日間は持たせることができる。

4 月 24 日に石川県庁に谷本知事を訪ねて商品化を報告した。すでに 1 号機は、3 月末に輪島市に導入している。



超高効率エアコン向けダイオード (家庭用エアコンの省エネ度向上)



家庭での消費電力量全体の約 25% をエアコンが占めているため、エアコンの消費電力を削減すれば大きな省エネ効果が得られます。その削減対策としてエアコン製造メーカー各社は、電子回路の一部に消費電力の低減と共に「高調波」という電源波形を整えるための「力率改善回路 = PFC」と呼ばれる制御回路を導入しています。最近では、この技術が中華圏メーカーを中心に拡大しつつあり、大容量エアコンはもちろんのこと、中容量

(2.2kw や 2.5kw クラス) のエアコンにまで展開されつつあります。当社は、この回路に使用される主要な部品である高速整流ダイオードという半導体部品の損失を約 27% 低減させた環境対応製品を開発しました。

また、損失が少なくなったことから、中身のチップといわれる主要部もサイズを小さくすることが可能となり、その分の使用材料(シリコン)の削減にも寄与しています。

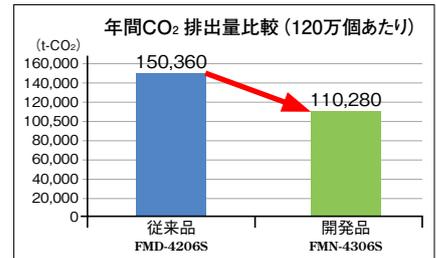
この製品は年間 120 万個出荷して

おり、約 4 万トンの CO<sub>2</sub> 削減に寄与しています。

※ (125.3-91.9) kg-CO<sub>2</sub> × 120 万個 = 40,080 トン-CO<sub>2</sub>

今後は、更に高効率化、損失低減に向けて技術開発を行います。また、小型のルームエアコン用電源回路にも最適な製品を展開していきたいと考えます。

	従来品 FMD-4206S	開発品 FMN-4306S	
定格 15A 運転時損失	45W	33W	27%低減
CO <sub>2</sub> 排出量 (1個あたり/年間)	125.3 kg-co <sub>2</sub>	91.9 kg-co <sub>2</sub>	
チップサイズ	16.81mm <sup>2</sup>	11.56mm <sup>2</sup>	31%削減



ハイブリッド車 (HV) / 電気自動車 (EV) 用補助電源の省スペース化

近年、低炭素社会への取り組みから、HV/EV 車両は急速な広がりを見せています。車メーカーからは、HV/EV 車両専用の補助電源のニーズが高まっており、今回、車載部品の厳しい品質要求に対応した信頼性の向上、周辺回路の取り込みによる電源回路小型化などに配慮した製品を開発しました。



電源効率は今までと大きく変わりますが、従来品は単出力しかなかったものを多出力が可能な回路構成にしました。例えば、顧客が 3 出力を必要とした場合、従来は 3 個の IC が必要でしたが、一つの IC で構成する事が可能になりました。部品数も 1/3 で済み、補助電源全体として省スペース化に大きく貢献しています。

また、車載品なので特にノイズ対策など、一般品とは比較にならないほどの高信頼性を追求しています。

	従来品	開発品
DC 出力	一つの入力に対して単出力	一つの入力に対して多出力
周辺部品	多	少



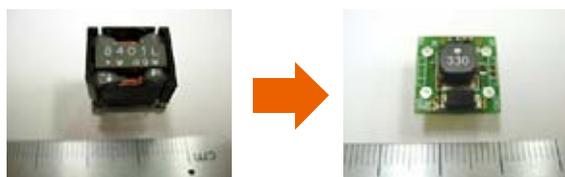
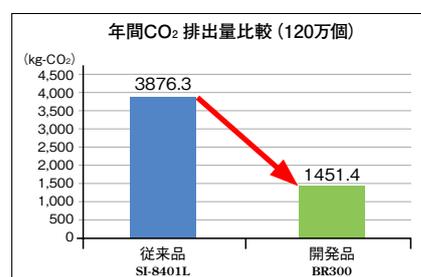
## 機器を制御する電源回路の省スペース化

私たちの身の回りの電子機器にはマイコンやLSIなどが組み込まれていますが、それらに供給される電力は直流電圧を使います。この電気を送る部分にはDC/DCコンバータという電源回路が必要で、従来はICやコイル、電子部品などを組み合わせて設計していました。当社では、従来品の「SI-8401L」に続く新製品として、主要部品を一括で搭載してモジュール化した「BR300」を開発、生産開始しました。

これによって、セットメーカー各社はわずかな外付け部品を追加するだけで簡単に電源部分を設計できます。

従来品と比較すると、環境対応の特長としては、電圧変換時のロスを低下させた高効率化と高周波スイッチング技術採用での小型化により、省スペース、使用材料の削減に寄与しています。特に使用材料については、コイルに使用している「銅」が大幅に削減され重量も約1/3になっています。

本製品シリーズは、現在は出力電圧5ボルト、出力電流1.0Aの製品ですが、電圧は変えずに2.0Aの製品、4.0Aの製品へと拡大したいと考えています。



	従来品 SI-8401L	開発品 BR300	
効率	80%	91%	
変換時ロス	0.625W	0.247W	0.378W 削減
重量	5.1g	1.6g	主に「銅」削減
寸法	14.5 × 12 × 13.2	14 × 14 × 10	
体積	2296.8mm <sup>3</sup>	1960mm <sup>3</sup>	

## LED ベースライト 高効率で消費電力削減 長寿命でランニングコスト削減

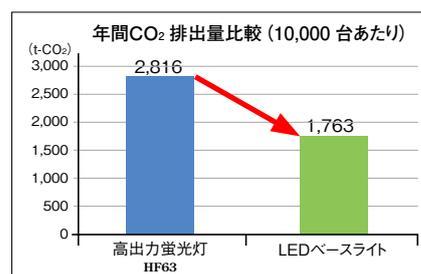
世の中ではエコ意識の高まりから、従来の蛍光灯や白熱灯照明からLED照明に交換する傾向が高まっています。当社は、様々なLED照明を開発・提供しており、この度、オフィス向けのLEDベースライトを開発しました。この製品は、省エネ蛍光灯である高出力のHF63蛍光灯の代替になるもので、約40%の消費電力を削減しています。

また、電源回路設計で培ってきた技術を生かし、電子機器の誤動作の原因となるノイズを大幅に低減しました。これにより、電波障害に関する国内自主規制の厳しい値をクリアしています。

今後は更に長尺タイプのラインアップを増やす等、シリーズ強化を行い、省エネに貢献していきます。



	昔の蛍光灯 FL 管	高出力蛍光灯 HF63	LED ベースライト
消費電力	74W	115W	72W
変換効率	83lm/w	101lm/w	127lm/w
寿命	12,000 時間	12,000 時間	60,000 時間



※年間CO<sub>2</sub>量は出荷台数10,000台/年、稼働時間:12時間/日、係数0.559にて算出

### 複合機用電源の待機時電力損失低減

コピー、プリンタやファックスが一緒になっているいわゆる「複合機」のセットメーカー各社向けに当社製の電源を納入しています。

複合機の世界でも、省エネの波が押し寄せており、待機電力の削減が求められています。ヨーロッパの「ErP 指令 Lot.6」という省エネ規格に対応するためには、待機電力を0.5W以下にしなければなりません。当社では次の2つの方法でこの規格をクリアしています。

一つは、使用していない時間が一定時間経過後、お客さまの装置側から信号を受けて完全にスイッチをオフしてしまう方法、もう一つは、信号を受けて待機電力を0.5W以下に落とし再度信号を受けたら、自動復帰する方法です。これにより、従来は待機電力が1.0W程度消費していましたが、開発品では0.5W、機種によっては完全に0Wを達成することができました。

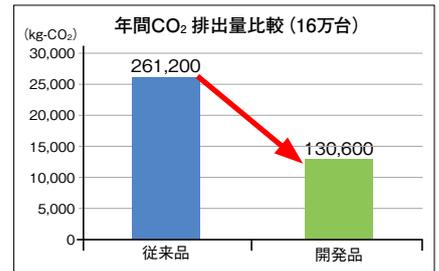
このように、新たな資源を追加す



待機時消費電力0W 電源

ることなく従来品と同等以上の性能を発揮しています。本製品シリーズについては、0.5W製品機種を増やすこと、年々厳しくなるヨーロッパ省エネ規格に対応し、さらに0Wに近づくことを考えています。

	従来品	開発品 1L467HA	開発品 1L512W
待機時消費電力	1.0 W	0 W	0.5 W
効率	ほぼ変わらず: 85%		
使用材料部品点数	ほぼ変わらず		多少増



### モーター用ドライバー IC の小型化により使用材料削減

白物家電と言われる冷蔵庫、洗濯機、エアコンなどにはコンプレッサーやファンにモーターが使われており、そのモーターを制御するためにモータードライバー IC という電子部品が組み込まれています。当社では600V・5Aの製品で性能を落とすことなくサイズを小型化することで、使用材料を大幅に削減しCO<sub>2</sub>の削減に寄与しました。

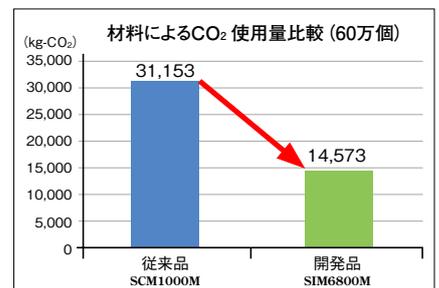
年間出荷数約60万個の材料削減によりCO<sub>2</sub>に換算したエポキシ樹脂

と銅の使用量が半減(約16トンの削減)という効果をあげています。

- ・エポキシ樹脂使用量  
11,400kg-CO<sub>2</sub>、約11トン削減  
(従来品) 10g/1000 × 4.0kg-CO<sub>2</sub>/kg × 60万個 = 24,000kg-CO<sub>2</sub>  
(開発品) 5.25g/1000 × 4.0kg-CO<sub>2</sub>/kg × 60万個 = 12,600kg-CO<sub>2</sub>
- ・銅使用量  
5,180kg-CO<sub>2</sub>、約5トン削減  
(従来品) 9.17g/1000 × 1.3kg-CO<sub>2</sub>/kg × 60万個 = 7,153kg-CO<sub>2</sub>  
(開発品) 2.53g/1000 × 1.3kg-CO<sub>2</sub>/kg × 60万個 = 1,973kg-CO<sub>2</sub>

白物家電を取り巻く状況は、効率化とともに部品の小型化へと変化しています。今後はこの開発品のシリーズで、出力電力が大きい製品についても対応できるよう検討を行っていきたいと考えています。

	従来品 SCM1000M	開発品 SIM6800M	小型化の度合い
サイズ(ミリ)	47 × 33.2 × 11.2	36 × 17.4 × 7.6	
体積	17,476	4,760	1/3
エポキシ樹脂使用量	10 グラム	5.25 グラム	1/2
銅使用量	9.17 グラム	2.53 グラム	1/3
定格	600V 5A		



当社は「CSR 委員会」を中心に、「危機管理」「内部統制」「内部監査」「環境」「安全衛生」の専門組織を設けて、各分野ごとに詳細な活動を行っています。

## 実務レベルの「CSR 推進会議」を立ち上げ

2012年8月から、当社が標榜する「CSR 経営」実現に向け、また、中期経営計画に掲げた「グループ全社での CSR 意識の醸成と実践」を実現するために、「CSR 推進会議」を立ち上げました。社内各部門から選抜された「CSR 推進者」により、CSR 教育や具体的な CSR 活動を展開し、CSR の社内浸透を図っています。

推進者の選出に当たっては、女性人材、若手人材、外国人活用を鑑みたメンバー構成とし、現在、28名(女性21名、男性7名)がきめ細かなCSR活動を展開しています。

2012年度の初回会議では、CSR推進会議の目的や推進者の役割を確認し、「CSR」「コンプライアンス」といった基礎知識を共有したうえで、各部門内に基礎知識の浸透を図りました。二回目以降は、企業として「どのようなCSR活動をすべきか」といったテーマについて議論も行い、「本業を実践していく中で企業の社会的責任を意識した具体的なCSR活動」を提案しました。地域社会への貢献、地方自治体やNPOと連携した社会活動などのテーマが出され、実現に向けて具体的な検討を進めています。



## 「サンケン流 CSR」の考え方

★ 基本 …… 持続可能な社会に向けて事業活通じて社会が抱える課題を解決していく

★ ポイント … 当社及び当社グループの事業活動を社会の要請とどう整合させていくか

## 「CSR 推進者」の役割

- ① 「CSR」を「事業活動」と別に考えず、本業を通じて実践することで価値創造に結び付けるとともに、部門内にも展開する。
  - ② 行政、地域団体、NPO 等と連携した社外活動も想定した社会貢献活動を実践する。
  - ③ 自部門に関わるステークホルダーの要請に傾聴し、社会のニーズや変化を捉える。
- 今後は、国内グループ会社にも「CSR 推進者」を配置し、各社の特性を活かした「グループ全社での CSR 意識の醸成と実践」を展開していきます。

### CSR 推進者のコメント

A さん  
(女性)

「意外に身近」な CSR を、いろいろな部門の仲間と共に学び、発信していけたらと思っています。本来業務の中で実は CSR に貢献していることはたくさんあると思います。

B さん  
(女性)

CSR に対する社員の関心を盛り上げるためには、未来を担う若手と女性が奮闘していく必要があると思いました。

C さん  
(男性)

グループ討議を通じてさまざまな人とコミュニケーションでき、また講義を通じて CSR について身近に感じられるようになりました。

サンケングループは、地域社会の良き隣人を目指し、「本業を活かした CSR 活動」を基本とし、地域との共生を図ります。

今回は、当社の照明技術が地域活性化に役立った事例を報告します。

## あぜのきらめき、輪島市のギネス認定に貢献

輪島の名勝、白米・千枚田は、能登半島の海沿いに位置し「能登の里山里海」として世界農業遺産に認定されています。当地では、2011年に好評を博したLEDイルミネーションイベント「あぜのきらめき」が2012年も石川県輪島市主催で開催されました。

このイベントには、当社グループ会社である「石川サンケン」及び「サンケンオプトプロダクツ」が協賛しました。

あぜのきらめき実施期間：  
2012年11月10日（土）  
～2013年2月17日（日）  
午後5時～9時

場所：白米・千枚田



イルミネーションには、当社製の「ペットボトル」と呼ばれる太陽光発電パネル付LED（発光ダイオード）を使用しました。仕組みは、

ペットボトルの容器に太陽光パネルと充電電池、LEDを組み入れたもので、昼の太陽エネルギーで発電・蓄電し、夜になるとLEDが自動的に点灯する自立型の発光装置です。



化石燃料による発電ではなく、全て自然エネルギーを利用するもので、地球環境に優しく世界農業遺産にふさわしいと評判でした。

今回は、去年の12,000個より8,000個以上多い、20,000個以上のLED「ペットボトル」を設置しました。後日、輪島市は「輪島・白米千枚田あぜのきらめき」で使用しているソーラーLED装置で、「LARGEST DISPLAY OF SOLAR-POWERED LEDS（太陽光発電LEDの最大ディスプレイ）」というカテゴリーのギネス世界記録TMに挑戦し、ソーラーLED20,461個の点灯が確認され新たなギネス世界記録TMとして認定されました。

ギネス世界記録 TM/ ギネスワールドレコーズ TM はギネスワールドレコーズリミテッドの登録商標です。認定機関：ギネスワールドレコーズ（英国）

## LED「ペットボトル」設置ボランティア報告

### 11月10日（土）点灯初日

能登半島の天気は変わりやすく、この日も快晴から突然雨が降り出すなど目まぐるしく変わる空模様でしたが、組立作業開始後はくもり（気温11℃）となり作業を行うには絶好のボランティア日和でした。

当社は技術供与だけでなく、輪島市が募集した「ほたるびと（＝ボランティア）」約200名とともに、設置などのボランティア活動にも多数の社員が参加し作業を行いました。

### 14時50分 LED「ペットボトル」 の組立作業

「ペットボトル形状部分（LED+太陽光発電+充電電池）」と「地面に差込む部分」を合体させます。



**15時00分**  
**設置作業開始**

田んぼのあぜ道に沿って、「ペットボトル」を差していきます。



**18時00分**  
**千枚田を観光客に開放**

観光客が千枚田内に入って、間近でライトアップを楽しみました。



**16時00分**  
**徐々に暗さを感知しLED  
点灯自動開始**

特設ステージでは、御陣乗太鼓実演がスタートしました。



**17時00分**  
**点灯式開式**

輪島市梶市長、谷本県知事(代理の方ご出席)、石川サンケン藤井社長が参列。



**18時40分**  
**記念花火打ち上げ 300発**

花火終了後は、幻想的にライトアップされた棚田を各々に見学し、多くの観光客からため息が漏れていました。



約3カ月の間、LEDによるライトアップで訪れた観光客を魅了しました。このイベントにより、本業を活かした地域貢献であり、当社のブランドイメージ向上にも繋がる「CSR活動」ができました。

今後も更なる工夫を行い、地域に貢献していきたいと考えています。

## 工場内部 まで見学

### ポーラー セミコンダクター

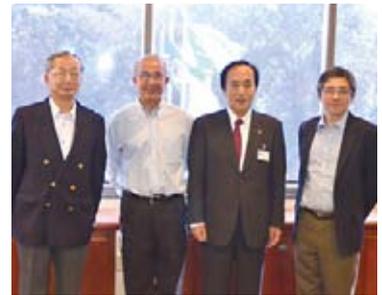
米国ミネソタ州にあるポーラー セミコンダクター LLC (以下、PSL) は、山形サンケンにならぶ当社グループの半導体チップの生産拠点です。高い微細加工

技術と8インチウェーハプロセスラインにより、当社の製品競争力強化、生産能力向上に寄与しています。

### 「埼玉県視察団」の訪問

2012年9月、埼玉県上田知事が日本・米国中西部会(ミネソタを含め米国10州が加盟)に参加のため渡米した際に、PSLの工場見学に来社されました。

サンケン電気は、埼玉県に本社を置く企業として埼玉県海外インターンシップ制度に協力し、2011年、2012年と連続で県内の学生をPSLにて受け入れ実習や異文化体験をしてもらっています。インターンシップ受け入れに関し、上田知事からは感謝の言葉をいただきました。



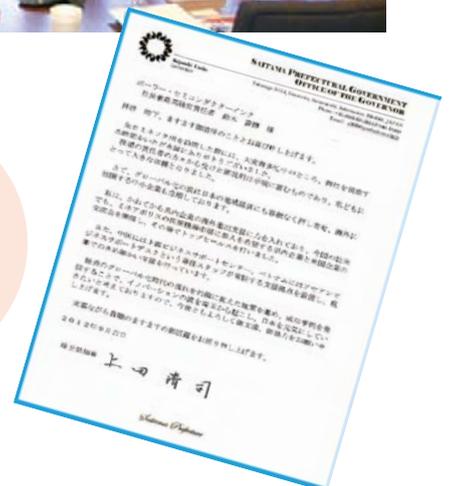
埼玉県は、留学生や研修生、企業の海外インターンシップ生をサポートする仕組み作りに注力し、地方自治体の中でも最大級の予算を計上しています。また、グローバル化の支援プロジェクトとして、中国上海にビジネスサポートセンター開設を皮切りに、同様の施設をハノイとホーチミン(ベトナム)、バンコク(タイ)にも開設しています。



### 上田知事からの期待

「サンケン電気は、埼玉県に本社を置く有力な企業であり、日本のみならず世界に通用する技術を有していると信じています。その一員のPSLが優れた技術で、優秀な製品を世界に展開している姿に触れることができ非常に心強い。今後の発展を期待します。」とご挨拶されました。

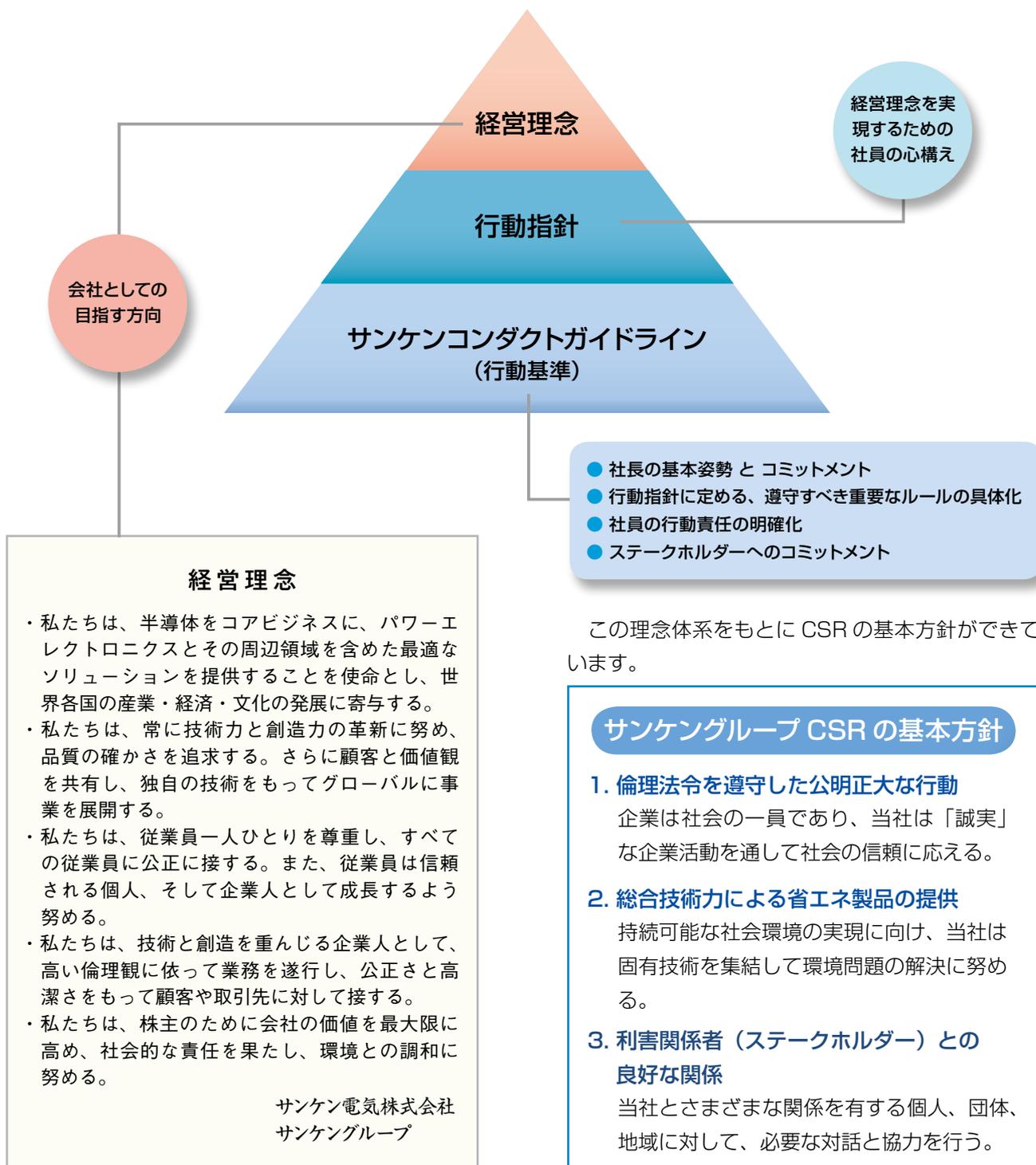
後日、お礼状も  
いただきました



経営理念の実践を通して、CSRの実現を目指します。

### サンケングループの CSR

サンケングループの理念体系は、経営理念、行動指針、コンダクトガイドライン（行動基準）の3つで構成されています。



## CSR体制

誠実で存在感のある会社を目指し、  
管理体制の充実を図っています。

当社は、企業価値の向上と社会的責任（CSR）を果たすため、経営目標の設定ならびにその執行を適正に行う仕組み（コーポレートガバナンス）の充実を図っています。

### コーポレート ガバナンス体制

当社は会社の運営に必要な機関として、「取締役会」「監査役会」「会計監査人」を設置しています。

また、執行役員制度の導入による経営と執行の分離、内部監査および内部統制評価によるコーポレートガバナンス体制の整備を進め、経営の透明性の向上に努めています。

### 会社の機関とその状況

・取締役会

経営上の意思決定機関で、経営戦略や経営目標などを決定します。

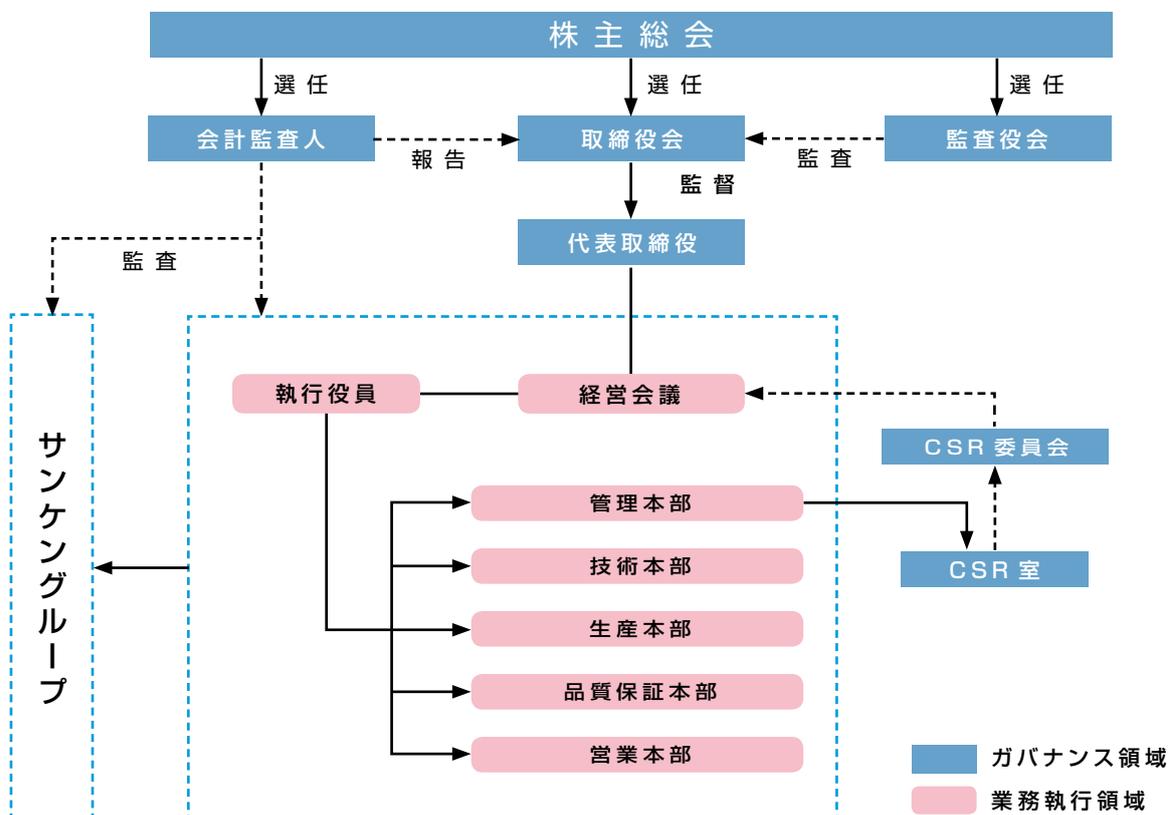
事業年度の経営責任の明確化を図るため、任期は1年で取締役に就任しています。

・監査役会

取締役の業務執行状況やその他の業務管理体制を監視する職務を負い、社外監査役も就任しています。

・会計監査人

当社は、新日本有限責任監査法人による外部監査を受けています。



## さまざまな委員会や専門組織が、CSR の推進を図っています。

当社は責任ある企業活動の推進によって企業価値の持続的な向上を図ります。

CSR の組織全体への浸透と実践に向け、「CSR 委員会」が組織横断的な専門組織として推進を行っています。

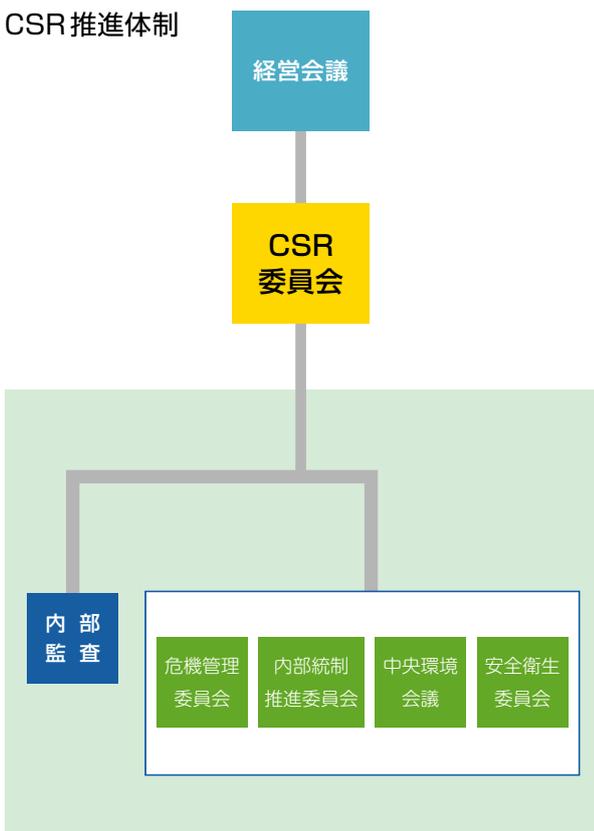
### CSR 委員会

(基本方針)

1. 経営理念、経営計画への適合
2. 経済・法令・倫理的なリスクコントロール
3. 活動結果の開示と多様な関係者との対話

CSR 委員会は、各本部長が委員として任に当たり、グループ全体の CSR 活動を統括しています

#### CSR 推進体制



### 内部統制推進委員会

内部統制推進委員会は、管理本部長を推進委員長とし、内部統制の整備状況及び運用状況の確認、その際に発見された不備の是正を迅速に図り、内部統制を推進しています。

2012 度の内部統制活動としては、  
 1. 実質的なリスクに対応した内部評価  
 2. 海外拠点への積極的アプローチ  
 3. 制度変化対応等を推進してきました。

内部統制推進委員会による評価結果は、「内部統制報告書」に記載され、代表取締役提出されます。2012 年度においても、新日本有限責任監査法人による「適正意見」が表明され、当社の内部統制の有効性が確認されました。



### 内部監査

当社は、「コンダクトガイドライン」（行動基準）による倫理法令遵守を目的とした「内部監査」を実施しています。内部監査の結果は、経営層ならびに監査役に報告され、必要に応じて当社グループを含む業務に反映されています。

2012 年度は、リスクアプローチに基づく重要性、影響度を評価したテーマを重点的に監査を実施しました。コンピュータ利用監査技法（CAAT）も取り入れ、経営者のニーズに合った内部監査の付加価値の実現（改善提案）を図り、経営者のリスク管理支援を推進してきました。

## リスク管理を強化して、 事業の継続性を確保しています。

事業活動には、その目的の達成を阻害するさまざまな事態が発生します。当社ではこのようなリスクを事前に防止するため、計画的に社内体制の整備を進めています。

### 情報セキュリティ

当社では、取引先との契約条件、技術情報、製造条件等の企業秘密・情報資産の保護管理を強化するため、「情報管理規程」を制定し、情報漏洩防止の徹底を図っています。また、個人情報保護法や不正競争防止法に則り、保護すべき情報の範囲やその管理方法を定めた手順書も整備しています。

情報セキュリティの教育については、定期的に各部門で実施するほか、全従業員を対象とする理解度調査も実施しています。これらの結果を反映し、教育計画を立案しています。

外部と接続する通信ネットワークに関しては、外部からの不正侵入の防止対策強化を図るとともに、通信記録の保護と監視、ネットワーク使用におけるガイドライン策定といった対策を講じており、実効性を確保しています。

### 危機管理

当社グループでは、地震や火災などを重大なリスクと捉え、非常時における従業員の安否確認システムを導入し、また、災害発生時の被害最小化と復旧手順を定めた「災害対策マニュアル」・「事業継続計画（BCP）」を策定・運用するなど、重大災害を想定した具体的な対策を講じています。2011年の東日本大震災での教訓を踏まえ、災害対策マニュアル及びBCPの実効性をさらに向上させるための見直しを実施し、現在もグループ全体を統括する「危機管理委員会」を定期的開催し、危機管理体制の強化に向けた取り組みに注力しています。



### 輸出入管理

当社は、「外国為替及び外国貿易法」および「関税法」等の輸出入関連法令、さらには貿易相手国の関連法令の遵守を目的に、「安全保障輸出管理規程」および「輸入管理規程」を制定し、その確保に努めています。

輸出入管理を適切に実施するために、当社では、取引対象となる商品、部品、設備、原材料などの貨物およびその関連技術を、社内規則に定められた手順に従い、輸出入規制に該当するかどうかをあらかじめ判定する事で、業務を適正に推進しています。輸入においては、当社の貨物のセキュリティ管理と法令遵守体制の整備状況が評価され、監督官庁である東京税関より特例輸入者としてAEO認定を受けました。

また、輸出入業務に関連する部門を網羅した「輸出入管理委員会」では、適法性向上を図ることを目的に本業務に係る教育および監査を定期的実施しています。輸出入管理に係る法令違反を未然に防止するため、全従業員に対するeラーニングを実施しています。

### 知的財産

製品開発がワールドワイドで加速している現在、事業の競争優位性を維持するためには、絶え間ない研究開発によって高付加価値製品をいち早く創出することと、開発成果を知的財産として迅速かつ適切に保護することが重要となっています。

このため、当社では、研究開発部門と知的財産部門との密接な連携活動を通じて、製品コンセプトのコアとなる基礎技術から市場ニーズを捉えた製品応用技術に至るまで幅広い発明の創出、早期の知的財産化、およびその円滑な活用を図っています。また、将来のマーケット、生産拠点等も考慮し、新興国を含めたグローバルな特許取得も積極的に進めています。このような観点から、従業員に対して特許を中心とした体系的な知財教育活動を行い、意識付けを強化しています。

## お客様とのコラボレーションを通して、最適なトータルソリューションをご提案します。

当社グループは、お客様の声を開発・製造部門までフィードバックすることで高品質・高性能な製品の提供を行い、お客様信頼度の向上に努めています。

### 更なる品質向上に向けて

お客様へ安全・安心な製品・サービスをお届けするため、品質マネジメントシステム（ISO9001、ISO/TS16949）を運用し、品質管理体制を構築、継続的改善に努め、成果を上げています。

自動車、医療機器など安全安心を求められる製品には、通常よりも更に高い品質・信頼性が求められています。安全性、品質、信頼性保証に関する活動を最重要課題として取り組むために、サンケン電気と各グループ会社それぞれに経営直轄の「品質改革室」を設置し連携体制を構築しました。

開発・設計から生産段階までを徹底管理し、高品質はもちろん工場全体を含めた体制整備を実施し、更なる向上を図ります。



### 半導体、LED のオンライン販売をチップワンストップで開始

当社の半導体、LED 製品、AC アダプタ等をオンライン販売でご購入いただけるような仕組みを構築しました。

株式会社チップワンストップ、大和無線電機株式会社のサイトを通じて 1 個からご購入いただけます。電源製品は 100 製品超、半導体製品は 300 製

品超のラインアップでスタートし、お客様からご好評をいただいております。



<http://www.chip1stop.com/makerDispDetail.do?makerCd=SNKN&cid=snknTOP2>

### 埼玉県「建設資材県産品フェア2012」に参画

当社は、埼玉県が主催した「埼玉県建設資材県産品フェア2012」に参画しました。建設工事の資材を製造している県内の企業や団体が集い、自社製品や技術をアピールして県産品利用を促進するイベントです。

特に今回は「大規模災害に備える県産品」がテーマにあり、当社の得意とする無停電電源装置をはじめ、LED施設灯等を展示、照明に関するプレゼンテーションも好評を博しました。



## タイムリーな情報開示を重視したIR活動を推進します。

当社は、株主・投資家の皆様を企業の支援者として認識し、投資判断に必要な情報の充実を目指してIR部門を通じ、タイムリーな企業情報の開示をはじめとする、さまざまな情報公開を迅速・適切に行っています。

### 情報開示について

当社は、積極的なIR活動を推進し、株主や投資家の皆様を始め、様々な関係者（ステークホルダー）に正確で公正な情報をタイムリーに開示し良好なコミュニケーションを維持できるよう努めています。

証券取引所の適時開示規則に基づき、当社、及び当社グループに関する必要な情報は、取引所のシステム（TDNET）にて公開します。これらは当社ホームページで一般投資家の皆様にも公開しています。

### 株主構成

当社の株式及び株主の状況は、次の通りです。

発行可能株式枚数	2億5,700万株
発行済株式数	1億2,549万株
株主数	15,542名

（2013年3月31日現在）

当社の株主構成は金融機関ならびに個人投資家で66.9%を占めています。

### IR活動について

当社では、株主・証券アナリストおよび機関投資家の皆様に当社の財務状況や事業戦略を適切にご理解頂くために、年2回の決算説明会を開催しています。また、同時に個人投資家の皆様には、当社ホームページの投資家情報コーナーにて決算短信・有価証券報告書・適時開示情報、および外国人投資家向けのアニュアルレポート（英文）などを掲載し、公平・公正な情報の開示に努めています。

2011年11月及び2012年5月には、金融機関、社債投資家等に対して行うIR活動である、「デットIR」を実施し、中期的な説明をいたしました。

### お取引先との関わり

## 公正・透明・誠実なお取引を通じて共存共栄を図っていきます。

当社は、グローバルな調達活動において国内外の多くのお取引先の人権や労働に関する基本的な権利を尊重するとともに、常に公平で透明な取引が誠実に行われるよう取り組んでいます。

### 購入に対する姿勢

当社は、購入に関しての基本方針、取引原則および倫理原則を「行動管理基準」に定め、誠実で透明な取引環境の向上に努めています。

なお、調達業務の運用状況については、監査部門による定期的な確認が行われています。

#### 【調達基本方針】

1. 法令を遵守し、環境にも十分配慮します。
2. グローバルな観点で最適調達を目指し、お取引先との相互理解と信頼関係に基づくパートナーシップを構築します。
3. お取引先へオープンで公平な参入機会を提供し、国籍・企業規模・取引実績の有無を問わず、QCDE満足を基本に選定を行います。



1. コストの合理化強化
2. 調達SCMの改善
3. CSR調達の推進

## お取引先選定について

下記基準に基づき広く世界に目を向け、平等な取引の機会を提供しながら自由競争の原則に則ってパートナーシップの構築ができるお取引先を選定しています。

1. 各国の法令・規制・社会的規範の遵守
2. 要求品質・仕様の確保と価格競争力
3. 納期・安定供給力・サービス力（生産変動対応）
4. 技術開発力・提案力（VA/VE）
5. 経営の安定力と積極的な環境対応

## 事業説明会の開催

緊密で長期的なビジネスの発展を図る目的から、当社ではお取引先事業説明会を開催しています。

2013年度は98社（196名）のお取引先を対象に実施し、当社の13年度基本方針、エコ・省エネ・グリーン市場を核とした成長戦略、北米統括会社の設立、重点市場とコア技術、グローバル調達推進、調達SCM改善とBCP/BCM導入推進などが説明されました。

今後も適切な情報の提供を心掛け、相互信頼に基づくパートナーシップの充実を図ります。



## CSR調達促進への取り組み

2012年度は、5月にお取引先88社にCSRアンケートを依頼した結果、回答率は73%でした。結果は集計分析し、全てのお取引先にフィードバックいたしました。その際、不備な部分が発見されたお取引先には改善要望を依頼し、CSR調達に協力していただいています。

## グリーン調達

当社のグリーン調達に関しては、「グリーン調達ガイドライン」で概要を示し、禁止物質や管理値等の内容は「グリーン調達の手引き」及び「SG製品含有化学物質管理基準」で定め、都度改定を実施しています。直近では、2013年1月に、REACHのSVHC（高懸念物質）を反映すべく改定を行い、どのお取引先にもご利用頂けるようホームページで公開しています。

## 紛争鉱物問題への対応<sup>※</sup>

当社は、DRC諸国（コンゴ民主共和国および隣接国）で問題となっている人権侵害を行う武装集団を利することのない鉱物の調達に取り組んでいきます。顧客からの調査依頼には、都度調査し迅速に回答をしています。また、部品材料の組成についてデータベース化し、調査対応スピードの向上につながるよう現在検討中です。

<sup>※</sup> 2010年7月、米国で「金融規制改革法」が成立し、DRC諸国で産出される紛争鉱物を製品に使用する米国上場企業はSEC（米証券取引委員会）への報告が義務付けられ、2012年8月に採択された。

## 資材統括部要員のスキルアップ

2009年から、的確なサプライヤーマネジメント（適正なコストダウン、納期順守率及び品質の向上、CSR調達）のスキルを身につけるためCPP資格取得を推奨しています。

CPP資格は（社）日本能率協会が認定する民間資格で、調達プロフェッショナル認定者（Certified Procurement Professional）A級とB級で構成されており、2013年3月末現在、A級10名、B級2名が資格を取得しています。今後もこの制度を活用し、スキル向上から、他部門およびお取引先との協働、経営に貢献する活動につながっていきます。

## 労働環境の質的充実に向け、 さまざまな取り組みを行っています。

当社は、「従業員一人ひとりを尊重し、すべての従業員に公正に接する」ことを経営理念に掲げています。この考えを基本として、従業員の能力開発に必要な機会、安全で働きやすい職場環境の整備に注力しています。

### 仕事と生活との両立に向けた取り組み

働く従業員の仕事と家庭の調和（ワークライフバランス）を重視しており、労働環境の整備と支援体制の充実を進めています。女性社員はもちろんのこと、男性社員の育児休暇取得促進や子育てに参加に関する啓蒙活動を積極的に行っています。



「県子育て応援企業マーク」



「くるみんマーク」

### 多様化する雇用への取り組み

当社では、ダイバーシティ推進の一環で、障がい者の雇用活動を継続的に行っています。近年は、障がい者雇用が法定雇用率に未達であったこともあり、雇用活動の一段の強化を図って参りました。

#### 【障がい者雇用拡大のための取り組み】

- ・ 所轄のハローワークと連携し、障がい者向けの就職面接会へ参加し、地域の求職者を募集。
- ・ 就職サイトを利用し、インターネット上で全国から公募
- ・ 人材紹介

また、人事担当者が「障害者職業生活相談員」の資格を取得し、採用者それぞれの職歴・障がいの内容に応じた柔軟な配属、職域開拓を行いました。その結果、障がい者雇用数を大きく伸ばし、法定雇用率を超え大きく改善しました。今後も引き続き雇用活動を継続いたします。

当社のビジネスが一段とグローバルに広がる中、

2012年度の新卒採用の状況は、13名中5名が外国人となり、採用面でもグローバル化に向けた取り組みを行っています。また、学生向けインターンシップを開催し、製造業ならではの開発現場を体験してもらい、将来の職業選択に役立ててもらっています。前年に引き続き、埼玉県企画である海外インターンシップ事業に参加し、北米の関連会社へ学生を2名派遣しました。

※期末時点	2009	2010	2011	2012
新卒採用数	40	13	0	13※
中途採用数	3	1	3	12
障害者雇用数	23	18	21	29
インターン数	15	23	30	26

※うち外国人5名

### グループ全体における女性の活躍の推進

当社および国内グループ会社における中長期的な女性の活躍を推進するため、2012年度からポジティブアクションを実施しています。

今年度は、当社及びグループ会社から選抜した女性23名とその上司に対し研修を実施し、ロールモデルを育成すべく、女性が活躍するためのベース教育を実施しました。



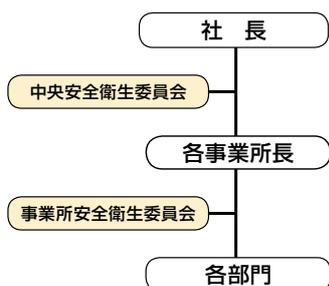
### 女性が働きやすい職場です

当社は、社員が出産や育児、介護をしながら働きやすい職場環境の整備を行っています。2012年7月には、埼玉県のウーマノミクスプロジェクトの一環として制定された『多様な働き方実践企業（ゴールド）』に認定されました。

	2009	2010	2011	2012
産児休暇者数	8	5	4	10
育児休業者数	8	9	11	11
介護休業者数	0	0	0	1

## 職場の安全と安心への取り組み

安全へ取り組みとして、今年度は「化学薬品管理強化」に注力しました。化学薬品保管状況に焦点を絞った職場パトロールを定期的を実施、指摘・改善活動を行うことで管理レベルの向上を図りました。また、化学薬品取扱時の保護具の装着状況、取扱手順が正しく守られているか等、使用実態の把握に努め化学薬品取扱者に対する教育に結び付けています。



### 【社員インタビュー】

営業本部 PS 営業統括部 産業インフラ営業グループ  
大場 里佳

### 「支援制度を活用し、仕事と家庭を両立しています！」



私は2009年10月に第1子を出産しました。子供との時間を大切にしたいと思い、1年半育児休業を取得しました。おかげで一日一日、大切に育児を行う事ができました。復帰後も子供の通院や看護には、サポート休暇を活用しています。

上司や同僚の理解がある職場で、現在は勤務時間短縮制度を利用して仕事をしています。勤務時間外の業務などサポートしてもらい毎日助かっています。

会社の支援制度のおかげで、子どもを育てながらも、仕事と家庭のバランスを保つことができ感謝しています。

これからも家族との時間を大切にしながら、業務に取り組んでいきたいと思っています。

また交通事故防止の観点から、社用車に運行監視装置を搭載しました。この装置は運転速度や急発進・急停車等車の運行状態をリアルタイムに監視し、異常な運行状況が発生すれば、運転者の管理者に対し通知する仕組みとなっています。この情報を受け、管理者は運転手に個別指導を行うことで事故防止に繋がっています。また、この装置から得られる情報を基に、当社社員の運転傾向を分析し安全運転講習に役立てる予定です。



## 労働組合との連携

会社を取り巻く環境の変化に柔軟に対応するため、当社では労使協議会を定期的開催しています。この会議を通して、労使間のさまざまな課題への意見交換と必要な対策が協議され相互の連携が図られており、団体交渉においても相互信頼にもとづく交渉が行われます。

## 能力開発と人材育成への取り組み

当社は、中長期的な人材の育成を行っています。教育体系は主に4つのプログラムから構成され、4階層に簡素化した組織体系と組み合わせで運用しています。

実務職	執務職	管理職	基幹職
職種別教育			幹部教育
階層別教育			
意識改革教育			
通信教育			

## 地域社会の各種イベントに協力することで 地域社会の発展と次世代育成に貢献しています。

当社グループは地域密着のさまざまな活動を行い、よりよい生活環境を共に作り、地域社会の良き隣人を目指します。

### 石川県志賀町の児童 携帯照明製作

石川サンケン本社・堀松工場では、小学生ものづくり教室を開催しました。地域の志賀町内の8つの小学校から6年生29名が来社し、LEDを使った携帯照明を製作しました。当日は地元ケーブルTV局の取材があり、教室の様子が放送されました。また、地元の新聞社の北國新聞と北陸中日新聞からも取材がありました。

社員16名が小学生たちを熱心に指導した甲斐があり、終了時のアンケートには様々な嬉しい反応が返ってきました。

#### 【アンケート結果】

- ・自分で作ったライトやブザーがちゃんとなったので、達成感があった
- ・少し難しかったけど、とても楽しかったので、またしたいです
- ・千枚田のLEDは、長い時間をかけて自分たちが作ったものの何倍もあるので感心した
- ・自分たちの身の回りにあるもののほとんどが、こうした「もの作り」からできていることが分かった。



将来、この子供たちの中から当社に入社される人が出る事を楽しみにしたいと思います。

### 地元小学生「企業エコ調査」のお手伝い

サンケン電気では、本社近くの新座市立東野小学校より、学習の一環として「地元企業のエコに関する取組みを直接調査したい」との依頼があり、PCD事業部、オプトBU、業務グループとCSR室がお手伝いをしました。

小学校5年生10名と引率の先生に「シー・えす・あーる」や「環境」について説明したあとは、「あい・しー」「たいきでんりょく」の勉強や家電（温水便座）の分解体験をしました。「光」の関係では、LED3原色の説明やLED工作を楽しんでもらいました。



直径約20cmのウェーハ1枚から7000個のICチップが取れる説明と、その小ささを比較した際には児童から驚嘆の声が上がり、温水洗浄便座の分解説明には現物を囲んで聞きっていました。

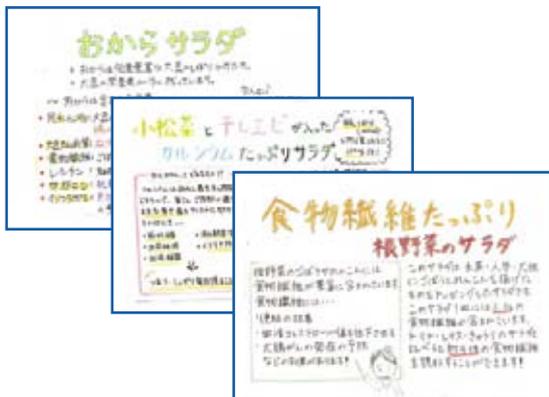
青色LEDを点灯させ、黄色シールドを使って白色にする（白色LEDになる仕組み）実験では、「家に持って帰って家族に見せる」と喜んで言う児童もいました。

小学生の喜び顔を見るのは良いもので、準備する側からも楽しいと言う声が聞かれました。地域とのコミュニケーション向上のためにも、この様な活動を継続していきたいと考えています。

### サンケン食堂！ 十文字学園女子大学短大生の実習

サンケン電気では社員の昼食を川越工場にある食堂の厨房で毎日調理しています。管理栄養士育成の一環として、近隣の短大生の調理実習を毎年受け入れて地域貢献をしています。

2012年も9月に3名の学生がサンケン食堂で調理実習を行いました。実習生が考案した小鉢サラダは毎回違う食材で、手作りレシピを作成するなど充実した実習となりました。



### 児童本の寄贈（ほんの気持ち）

サンケンオプトプロダクツでは、社員が協力してアルミ缶とプルタブの回収を呼び掛け、集まった物を換金して本の購入資金とし、地元のすばる幼稚園に購入した本を寄贈し「オプト文庫」を開設しました。

町内の小学校長より活動に対する激励のお電話を頂戴したり、児童書贈呈にあたっては盛大な歓迎パーティーを開催していただき、新聞記事としても取り上げられました。



空き缶を  
価値ある  
ものへ



すばる幼稚園から  
お礼のカードを  
いただきました



## 低炭素社会の実現に向けて

当社は、かけがえのない地球環境を健全な状態で次世代に引き継いでいくために、事業活動と環境活動の融合を図り、低炭素社会、循環型社会、自然共生社会を目指し、「エコと省エネ」を経営戦略に掲げた活動を推進しています。

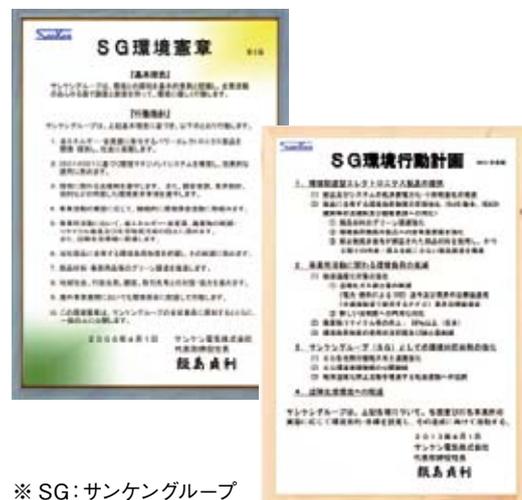
### 環境の取組

当社は、グループ全体の環境ビジョンとして、「SG環境憲章」を制定し、企業活動のあらゆる面で誠意と創意を持って、環境に優しく行動することを約束し、具体的な行動計画として「SG環境行動計画」を定め、実行しています。またグループ各社ごとに「環境方針」を定め、事業特性と地域の特色を踏まえ、環境負荷の継続的な低減を推進しています。

### 環境マネジメントシステム推進体制

効率的かつ的確に環境経営を推進するため、社長の直属組織であるCSR委員会を母体として、グループを横断する環境管理体制を構築しています。

当社は、国内13事業所、海外8事業所の製造拠点において環境マネジメントシステムを構築しており、それらはISO14001の認証を取得しています。事業の特性に応じた環境に配慮した製品開発、廃



※ SG: サンケングループ

棄物や、資源エネルギーの削減などを通じて環境保全に取り組んでいます。

### 環境監査と定期審査

当社は、環境活動向上のため、毎年、自社による環境内部監査を行い、関連法規制への適合性・年間計画の進捗状況などを点検し、更に、第三者機関による審査を毎年行い当社の環境管理システムの実効性を確認しています。検出された課題などは直ちに是正措置をとり、フォローアップ監査により効果を確認しています。

### 化学物質管理見直し活動

当社では、法令遵守、地球環境の保全、事故の防止、労働安全や健康確保、製品安全のために、「化学物質管理マニュアル」を策定し、化学物質の適正な管理に努めております。

また、化学物質によるリスク低減を図るために、定期的に使用・貯蔵場所のパトロールを行い、事故の未然防止に努めています。



(化学物質管理マニュアルの教育風景)

## 法規制の遵守

当社は、コンプライアンスを徹底するため、環境に関係する法規制を捉え、定期的に法規制遵守状況を確認しています。

更に、確実な法規制遵守のために、排出ガス、排水、騒音・振動等について、拠点ごとに法律や条例の規制値より厳しい自主管理値を設定しています。

2012年度、行政機関等から指導、勧告等、及び近隣からの環境に関する苦情はありませんでした。

## 化学物質の管理

2001年4月に施行された「化学物質把握管理促進法」(PRTR法)に基づいて、事業所単位で年間取扱量が1トン以上の第1種指定化学物質と0.5トン以上の特定第1種指定化学物質を、国に報告しています。

## 改正水質汚濁防止法への対応

2012年6月に改正水質汚濁防止法が施行されました。今回の改正は、①有害物質貯蔵指定施設等対象施設の拡大、②構造などに関する基準の順守、③定期点検の義務化を目的にしたものです。

対象となる特定施設を有する当社グループの各事業所では、行政機関への届出を行うとともに、法に基づく定期点検を開始しました。

## 省エネ委員会活動

当社は、温暖化ガスであるCO<sub>2</sub>排出量削減の重要性を認識し、省エネ対策に取り組んできました。

省エネ委員会では、各部署で改善を進めている課題の解決や、他部署に展開できる対策の水平展開を図ると共に、年1回のパトロールで運用状況の確認と改善ポイントの抽出を行っています。

2012年度は照明器具のLED化を進めるとと

もに、空調設備の負荷見直しを行い、冷凍機の供給温度設定変更など実施しました。また、本社体育館の水銀灯をLED照明に交換しました。

当社、グループ会社を含め全工場内照明約19,000本のLED化を終了しました。



## 環境リスク管理

当社は、自社所有地について土壌汚染対策法に基づき、随時調査を実施して環境リスク管理を行っています。

当社は、以前に製品の洗浄等にトリクロロエチレンなどの有機塩素系溶剤を使用していましたが、環境負荷低減に向け1999年に使用を全廃し、以降は使用していません。

## 環境教育

当社は、社員一人ひとりの自覚が不可欠とも考え、社員の環境問題への教育・啓蒙活動として、独自の教育プログラムに基づき、従業員全員を対象にした環境教育、特定の業務・役割



に応じた教育を実施しています。また、省エネ・省資源教育にも力をいれており、毎年、時代に即した内容で教育を行っています。

2012年8月、環境省及び埼玉県地球温暖化防止活動推進センター(NPO法人「環境ネットワーク埼玉」)に協力していただき、「うちエコ診断」を実施しました。

これは、事前にアンケートを実施し、環境省が派遣する診断員が面談により、具体的な省エネアドバイスを従業員に行うもので、従業員の家庭での省エネ意識向上につながりました。

環境パフォーマンスと具体的な活動

環境活動の状況は適宜に評価・測定され、翌年の計画に反映されます。

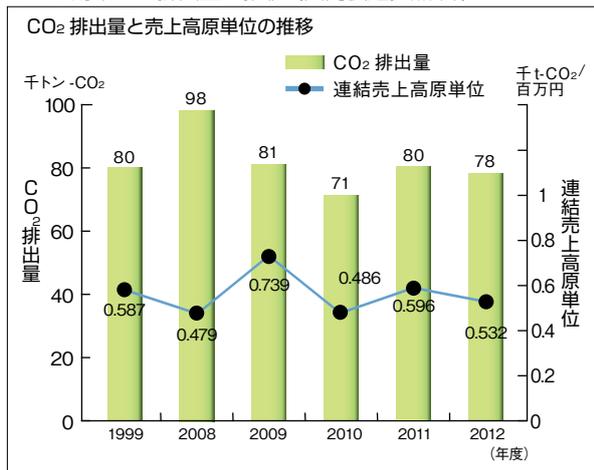
省エネ対策と温室効果ガス

地球温暖化防止に取り組むため、各事業所の有効な活動を取り入れながら、CO<sub>2</sub> 排出量の効率的削減に努めました。

2012 年度は、CO<sub>2</sub> 排出量を年間で約2千トン削減でき、これは樹齢 80 年の杉の木14万本がおよそ1年間に吸収する量に相当します。

2012年度	目標	実績	2013年度 目標
CO <sub>2</sub> 削減量	11年比 -1%	-3%	12年比 -1

■温室効果ガス排出量の推移（国内製造拠点 計）

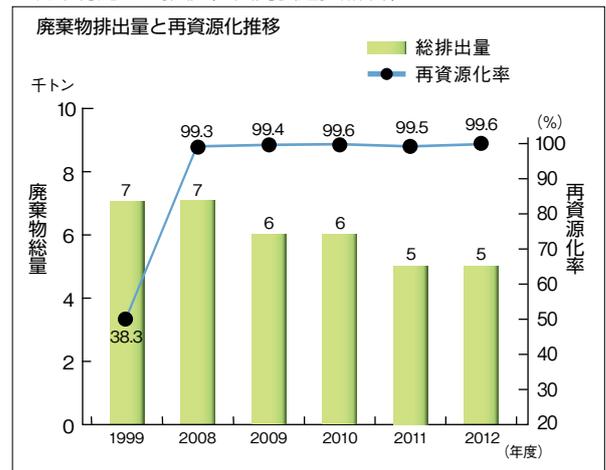


廃棄物の削減と資源循環

資源の有効利用・枯渇防止の一環として、ごみの発生抑制、排出量の削減、再資源化の推進を継続的に展開した結果、国内9製造拠点で再資源化率99%を達成しました。

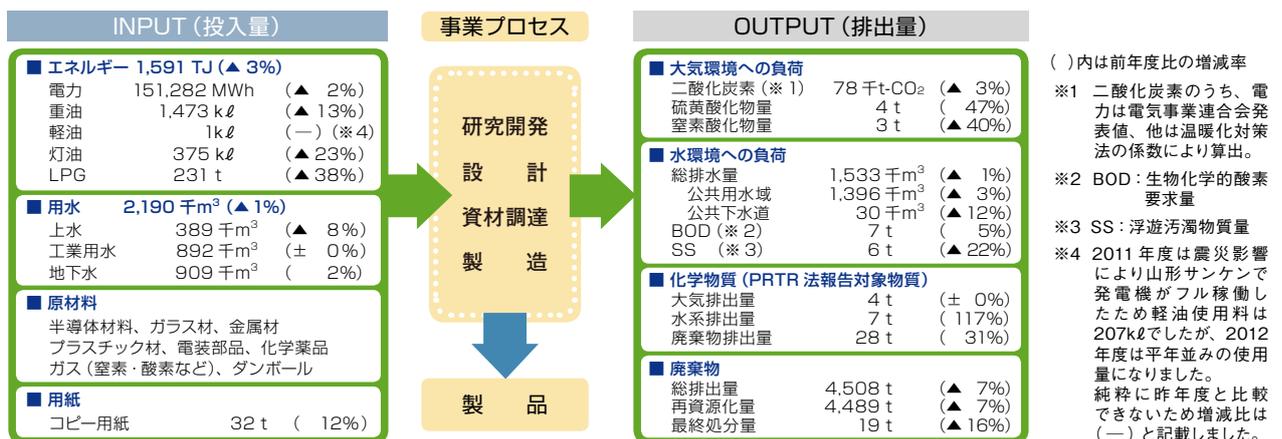
2012年度	目標	実績	2013年度 目標
再資源化	99%以上	99.6%	99%以上

■廃棄物発生量の推移（国内製造拠点 計）



事業活動と環境負荷

2012 年度の国内製造拠点のエネルギー消費量、化学物質などの生産に伴う資源投入量と、二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>)、廃棄物などの排出量は下記の通りです。



## いしかわ環境フェアに出展

8月25～26日、「いしかわ環境フェア2012」に出展しました。

当日は家族連れを中心に約23,000人の方が来場し、当社が展示したLED照明器具の明るさ、省エネ効果などを多くの方に体感していただきました。



石川県の谷本知事が視察されました。

## 町田エコフェスタに参加

10月7日、快適環境に関する啓発などを目的として、東京都町田市で毎年開催している「町田エコフェスタ2012」に参加しました。

当社は小中学生を対象にLED工作教室を行い、雨天の中、行列ができるほどの盛況でした。



## 電力回生システムによる検査工程のエコファクトリー化 第二弾

電源装置の検査工程では、製品が実際に使用されているのと同様の状態（負荷接続）で各種試験を行っています。試験においては大量の電力を消費しますが、従来、その電力は全て熱エネルギーとして大気に放出されていました。今まで無駄に捨ててきた電力を回生させ再利用をする仕組みを2011年から導入しており、昨年は「大型無停電電源装置」検査工程への導入例を報告しました。今年、別の製品への導入と、更なる発展型の電力回生システムを報告いたします。

### 太陽光発電用パワーコンディショナー検査工程への導入

通常パソコンは太陽光発電による電力を交流に変換し、系統電源に戻す働きをします。検査工程では太陽電池の代わりに直流電源を使用してエージング試験を行いますが、改善前には製品（パワコン）の出力電力を外に放出していたものを製品（パワコン）の出力電力を直流電源の入力に戻すことで、約84%の消費電力削減になることを確認しました。



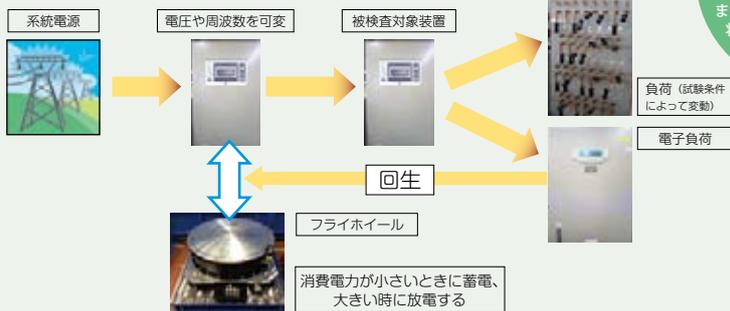
設備にエコロジー表示をしたり、検査している画面に削減電力量を表示することによって省エネ、エコロジーに貢献する製品を作っている意識を持つ取り組みをしています。

### 更なる発展型！ サンケンオプトプロダクツ「フライホイール蓄電装置」エネルギー回生システム導入計画

昨年度は、消費電力を回生することで削減する取り組みを行いました。このシステムは現在サンケン電気川越工場稼働しています。  
(2012CSR報告書で報告済)



しかし、検査内容によって消費電力にはばらつきがあります。回生による消費電力削減に加え、フライホイール蓄電システムによって消費電力を平準化する取り組みなどを行っています。現在開発中の初号機は、サンケンオプトプロダクツに設置予定です。



この取り組みが成功したら、フライホイールやその他の蓄電システムの組み合わせによって工場全体の消費電力を平準化する取り組みを行うことができます。また夢のような話ですが、近い将来またCSR報告書でご報告できるかと思えます。



生産本部パワー BU PS 製造部 製造技術グループ 佐藤 達也

項目	掲載関連ページ	備考
1 戦略および分析	p3,4	WEB 公開
2 組織のプロフィール	p30	WEB 公開
3 報告要素		
報告書のプロフィール	p1	WEB 公開
報告書のスコープおよびバウンダリー	p1	WEB 公開
GRI 内容索引	p29	
保証	—	
4 ガバナンス、コミットメントおよび参画		
ガバナンス	p14,15	WEB 公開
外部イニシアティブへのコミットメント	p14	
ステークホルダー参画	p18 ~ 24	
5 マネジメント・アプローチおよびパフォーマンス指標	以下の指標	

経済パフォーマンス指標		掲載関連ページ	備考	
経済的パフォーマンス	中核	EC1	p30	WEB 公開
	中核	EC2	—	
	中核	EC3	—	WEB 公開
	中核	EC4	—	*1
市場での存在感	中核	EC6	p19	
	中核	EC7	—	
間接的な経済的影響	中核	EC8	p23,24	

環境パフォーマンス指標		掲載関連ページ	備考	
原材料	中核	EN1	p27	
	中核	EN2	p27	
エネルギー	中核	EN3	p27	
	中核	EN4	p27	
水	中核	EN8	—	*1
生物多様性	中核	EN11	—	*1
	中核	EN12	—	
排出物、廃水および廃棄物	中核	EN16	p27	
	中核	EN17	p27	
	中核	EN19	p27	
	中核	EN20	p27	
	中核	EN21	p27	
	中核	EN22	p27	
	中核	EN23	—	
製品およびサービス	中核	EN26	p6 ~ 9	
	中核	EN27	—	*1
遵守	中核	EN28	—	*1

労働慣行とディーセント・ワーク パフォーマンス指標		掲載関連ページ	備考	
雇用	中核	LA1	—	
	中核	LA2	—	
労使関係	中核	LA4	—	
	中核	LA5	—	*2
労働安全衛生	中核	LA7	—	
	中核	LA8	p22	
研修および教育 多様性と機会均等	中核	LA10	—	
	中核	LA13	—	
	中核	LA14	—	
	中核	LA14	—	

人権パフォーマンス指標		掲載関連ページ	備考	
投資および調達慣行	中核	HR1	—	*1
	中核	HR2	p19	
無差別	中核	HR4	—	*1
結社の自由	中核	HR5	—	
児童労働	中核	HR6	p14,19	
強制労働	中核	HR7	p14,19	

社会パフォーマンス指標		掲載関連ページ	備考	
コミュニティ 不正行為	中核	S01	—	
	中核	S02	p16	
	中核	S03	—	
	中核	S04	p16	
公共政策	中核	S05	—	*1
遵守	中核	S08	—	*1

製造責任のパフォーマンス指標		掲載関連ページ	備考	
顧客の安全衛生	中核	PR1	p18	
製品およびサービスのラベリング	中核	PR3	p18	
マーケティング・コミュニケーション	中核	PR6	p14	
遵守	中核	PR9	—	*1

指標項目は、重要な GRI 中核事項を掲載

\*1 当社業務に関連しない、または該当しない項目

\*2 報告書には記載がないが、社内規則等にて別に定めのある項目



## 会社概要

商号	サンケン電気株式会社 Sanken Electric Co., Ltd.	
本社所在地	〒352-8666 埼玉県新座市北野三丁目6番3号	
設立	1946年（昭和21年）9月5日	
資本金	208億円（2013年3月31日現在）	
決算期	3月31日	
営業・事業所	国内11ヶ所	
連結子会社	石川サンケン株式会社 山形サンケン株式会社 鹿島サンケン株式会社 福島サンケン株式会社 サンケンオプトプロダクツ株式会社 サンケン ノースアメリカ インク アレグロ マイクロシステムズ エルエルシー ボーラー セミコンダクター エルエルシー アレグロ マイクロシステムズ フィリピン インク アレグロ マイクロシステムズ フィリピンリアルティ インク アレグロ マイクロシステムズ ヨーロッパ リミテッド アレグロ マイクロシステムズ アルゼンチン エスエー アレグロ マイクロシステムズ ビジネス ディベロップメント インク 埃戈羅（上海）微電子商貿有限公司 アレグロ マイクロシステムズ タイランドカンパニー リミテッド	韓国サンケン株式会社 サンケン エレクトリック シンガポール プライベートリミテッド サンケン エレクトリック ホンコン カンパニー リミテッド ビーティー サンケン インドネシア サンケン パワー システムズ（ユークー）リミテッド 大連三壘電気有限公司 大連三壘貿易有限公司 サンケン エレクトリック コリア株式会社 三壘電気（上海）有限公司 台湾三壘電気股份有限公司 サンケン エレクトリック（マレーシア）エヌディーエヌピーエイチディー サンケン電設株式会社 三壘力達電気（江陰）有限公司 サンケンロジスティクス株式会社 サンケンビジネスサービス株式会社

### 事業目的

半導体デバイス事業	パワー IC コントロール IC トランジスタ 整流ダイオード 発光ダイオード(LED)
PM 事業	スイッチング電源 (SMPS) AC アダプター トランス
PS 事業	無停電電源装置 (UPS) 直流電源装置 インバータ 高光度航空障害灯

### 主な業績推移（連結）

単位：億円、人

	2009年3月期 (92期)	2010年3月期 (93期)	2011年3月期 (94期)	2012年3月期 (95期)	2013年3月期 (96期)
売上高	1,470	1,341	1,449	1,318	1,263
当期純利益 (△当期純損失)	△158	△190	△9	4	22
設備投資	123	50	106	128	77
研究開発費	135	111	116	115	120
従業員数	10,063	9,986	9,981	9,788	10,427



サンケン電気株式会社

〒352-8666 埼玉県新座市北野三丁目 6 番 3 号  
TEL. 048-472-1111

問い合わせ先

